

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- 第1回理事会
開催年月日 令和4年5月20日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者3名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - 令和3年度事業報告及び決算について
 - 令和4年度事業計画及び予算（案）について
 - 役員改選について
 - 指定障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営規程の全部改正について
 - 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 指定特定・指定障がい児相談支援事業者運営規程の全部改正について

- 通常総会
開催年月日 令和4年5月28日（土）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 54名（うち表決委任者39名）／会員総数57名
議決事項の概要
 - 令和3年度事業報告及び決算について
 - 令和4年度事業計画及び予算（案）について
 - 役員を選任について

- 第2回理事会
開催年月日 令和4年6月1日（水）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者1名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - 正副理事長の選任について
 - 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船運営委員の選出について

- 第3回理事会
開催年月日 令和4年10月28日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者1名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 初任給・昇格・昇給等に関する細則の一部改正について
 - 職員の退職について
 - 日中一時支援事業の事業廃止について

- 第4回理事会
開催年月日 令和5年2月24日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者2名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - 業務用オープンの更新について
 - 電話機の更新について
 - 令和5年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】 就労継続支援B型

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。新規の取引も増え、例年並みの作業量・作業収益を確保することができた。

また、事業所内や施設外就労での訓練を経て、2名の方を一般就職に送り出すことができた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新規の注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層がさらに拡がり、市外・県外からの注文も増えている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品することで売上アップにつながっている。また、クッキーの飾りつけが簡単にできる治工具等を工夫する等、作業環境を改善することで、作業に参加できる利用者が増えたり、スピードアップにもつながっている。できる作業が増えて自信につながると同時に時給もアップし、利用者の励みとなっている。

町内の団体と連携し、山陰道開通後の町内活性化をめざし、補助金を活用して新商品づくりにも取り組んだ。

令和4年度は、物価高騰により利用者のみなさんの工賃に影響が出ないように、クッキーの価格見直しを行った他、店舗での売り場改善、観光客の増加等により、例年並みの収益を得ることができ、工賃向上につなげることができた。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、丁寧で正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、平成29年度は6軒、平成30年度は7軒、令和元年度は7軒、令和2年度は8軒、令和3年度は7軒のぶどう農家で作業に取り組んできた。ぶどう作業を継続して行ってきた利用者の就職や病気による療養等、利用者不足の中ではあったが、令和4年度も6軒のぶどう農家で作業に取り組んだ。

地域の農福連携事業推進のため、島根県障がい者就労事業振興センターの農福連携担当者、農福連携事業に取り組んでいる他の就労継続支援B型事業所等、地域の関係機関と連携・情報交換しながら、作業を進めてきた。

長年の取り組みで、農家からの信頼や期待が高まることが、利用者の自信や励みにつながっている。技術が向上した作業については、単価交渉をして時給を上げる等、工賃向上にもつなげていくことができた。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。令和4年度は、新たに多伎体育館のトイレ清掃にも取り組み始めた。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホームはなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。10年6ヶ月という長い期間取り組んできたが、法人の事情により、はなんばの里の清掃作業は、令和4年度で終了となる。

施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、公共施設を任されているという責任感、適度な緊張感をもちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

(株)ナカバヤシ、(株)かみありづき、(株)河内の内職作業の他、地域のいちじく農家の箱折り作業等、複数の作業に取り組んだ。年度末には、町内の企業(株)日本貿易産業ひな人形の喜峯より作業依頼があり、難易度が高く一部の利用者しか参加することができないが、試験的に取り組み始めた。

また、出雲市より選挙用鉛筆削り・宛名シール貼りの作業を請け負い実施した。どの作業も、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保することができている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、継続してアルミ缶をリサイクルすることができた。地域団体や地区社協の配布文書にアルミ缶回収の協力依頼記事を掲載していただき、地域住民に広く呼びかけた。

アルミ缶の回収量は横ばいだが、缶の引取り価格が大きくアップしたことで、工賃向上につなげることができた。

②【相談支援事業】 指定特定・指定障がい児相談支援事業

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町の障がい児5名と、町内の障がい者1名の相談支援を担当してきた。

③【地域生活支援事業】 日中一時支援事業

長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、地域のニーズに応えることができるよう事業を継続してきた。地理的な条件もあり、平成28年度以降利用がない状況であり、また、就労継続支援B型事業の作業量の増加により、職員配置が困難になったため、10月をもって事業を廃止した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位（千円）
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	5名	18名	33,036
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	6名	1,243
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	0名	0名	0